

名探偵ホームズセミナー

—第32回追分フォーラム—

講演会 展示会

(参加自由)



シャーロック・ホームズ像が建つ軽井沢で、ゴールデンウィークにホームズの文化フォーラム（講演会と展示会）を開きます。ふるってご参加ください。

〔日 程〕 令和6年5月4日（土・祝）13：00～17：00

5月5日（日）10：00～12：30

○講演会 中尾真理（奈良大学名誉教授・英文学）

平賀三郎（関西ホームズ協会代表・ホームズ研究委員会代表） 他

○展示会 世界のホームズ像、ロンドン地下鉄ベーカー街駅、エンジンバラやスイスのホームズゆかりの地などの写真パネルなど

〔会 場〕 中軽井沢くっかけテラス2階図書館多目的室

しなの鉄道中軽井沢駅下車すぐ

〔参加費〕 無料で地元町民・別荘族に公開

〔申込み〕 不要（都合の良い時間にお越しください）

〔問合せ先〕 JZB04100@nifty.com

〔解 説〕 ホームズの作者アーサー・コナン・ドイルは苦学をして医師になったが、患者は少なく生活は苦しかった。

そこでアルバイトで小説を書いて細々と印税を得ていた。ホームズ物は、1887年に長編《緋色の研究》を書き上げたが、あまり売れず、1891年に発表した《ボヘミアの醜聞》以下同じ探偵が事件を解決する短編の連載という新形式で好評を博した。

我が国では、昭和26年に延原謙訳で月曜書房から我が国初の「シャーロック・ホームズ全集」が出版された。延原は一層推敲してこれに磨きをかけ、現在の新潮文庫版を昭和28年から発行した。この推敲は軽井沢追分の油屋旅館の離れにひと夏滞在して作成しており、我が国初の決定版ホームズ全集は追分で生まれ、以下70年間版を重ねている。ここに軽井沢とホームズの深い関係がみてとれる。

関西ホームズ協会

軽井沢町・軽井沢文化協会後援

日本シャーロック・ホームズクラブ関西支部